

次期佐世保市総合計画の基本構想（中間素案）について

平成32年4月からを計画期間とする

「次期佐世保市総合計画」の基本構想（中間素案）をまとめました

基本構想（中間素案）は、3つの内容で構成されています。

- (1) 基本理念（市政の理念）
- (2) 本市の将来像
- (3) 基本目標

＜総合計画とは＞

総合計画とは、中長期的な視点から、その時々地域の実情、社会経済情勢の変化等を踏まえ、その実現に向けた総合的、計画的な市の行政運営を図るために策定されるものです。

構成	説明	主な内容
基本理念	すべての市民が健康で、幸せを実感しながら暮らせる社会を構築し持続していくために、市全体で共有すべき心構えを示しています。	<ul style="list-style-type: none">・支えあい、郷土愛、共感を育む「共生」の精神を持ちます・本市の大きな特徴とも言える「多様性」を大切にします・変化・継続、いずれの時も、常に高いクオリティと新たな価値を求め「創造」します・選択と集中、変革、発展を推し進めるため「挑戦」します
将来像	人口減少局面において、本市が目指すべき都市像です。4分野について、本市の都市像を示しています。	<ul style="list-style-type: none">・【経 済】 ⇒ 世界的な観光都市・【人 材】 ⇒ 育み、学び、認めあう、人材育成都市・【市民生活】 ⇒ 地域が社会を創る安心都市・【都市基盤】 ⇒ 西九州を牽引する中心都市
基本目標	まちづくりの目標としての施策（行政）の方向性を示すものです。	【まちづくりの方向性】 (例) <ul style="list-style-type: none">・市内総生産の向上・健康寿命の延伸・学力及び体力の向上・持続可能な都市の形成

まちづくりの中心は、常にひと（市民）

人口減少社会でも持続可能で幸せな社会の実現を目指します